

山口県中学校春季体育大会（西部）ソフトテニス競技上・会場使用上の注意

平成27年5月16日（土）・17日（日） 会場：宇部マテ“フレッセラ”テニスコート

1. 競技の進行について

- (1) 現行の日本ソフトテニス連盟の国際競技規則に則って行う。
- (2) ゲームはすべて7ゲームマッチを原則とする。
- (3) 団体戦については1チーム（校）3ペア編成の点取り対抗トーナメント戦とする。
 - ① オーダーはその都度変えても良い。選手の変更は、変更届けを必ず提出する。
第一試合のオーダーは開会式までに提出すること。
 - ② 3ペアの中で、半数以上（2ペア）欠けた場合は以後競技を続けることができない。
 - ③ 1ペア欠けた場合のオーダーの欠番は3番目とする。
- (4) 団体戦はどちらかが初戦のときは3ペア全部が行い、以後は2点先取した方を勝者とし、試合を打ち切る。
- (5) 団体戦・個人戦ともに、3位決定戦は実施しない。
- (6) 使用球

団体戦	男子～アカエム	女子～ケンコー
個人戦	男子～ケンコー	女子～アカエム
- (7) 試合前の乱打は1分以内とするが、乱打をしないときもある。
- (8) チェンジサイズの際とファイナルゲームに入る前のコーチについては、45秒で「レッツ、プレイ」をかける。
- (9) 団体戦の1・2位と個人戦のベスト4は、山口県選手権大会の枠外シード校・ペアとなる。
- (10) 中体連に登録してある外部コーチのベンチ入りを認める。

2. 雨天の場合について

1日目が雨天の場合は、監督者会議を開き実施を検討する。

- (1) 1日目が中止になった場合には、2日目に団体戦を行い、個人戦は中止とする。（個人戦中止の連絡を支部1位の学校で責任をもってすること。）
- (2) 待機の後に団体戦が実施できれば、できる限り団体戦を行い、2日目に団体戦と個人戦を実施する。この際、個人戦のベスト4がでそるえば、そのペアを選手権大会の枠外シードとみなす。

3. コート割について（監督打ち合わせで連絡する）

- (1) 進行によりコート変更をすることがある。

4. コートマナーについて

- (1) コートには、試合中の選手（団体戦は登録選手のみ）・監督又は外部コーチのいずれか1名しか入ることができない。
- (2) ベンチは学校番号及び選手番号の若い方が本部側とする。
- (3) 次の試合の団体は、今行われている試合や放送に気をつけて待機し、終われば速やかにコートに整列すること。
- (4) 次の試合の個人選手は、今行われている試合や放送に気をつけて割当コートの近くで待機すること。
- (5) ラリーが続いているとき、及びサービスモーションを起こした時点からの応援の発声は禁止する。
- (6) 過度のかけ声または相手を不愉快にする発声をしてはならない。
- (7) チェンジサイズ時のベンチ監督からのアドバイスを除き、インプレイ中における監督、選手、外部コーチ、その他観客からのアドバイスを禁止する。過度の声かけが認められる場合、イエローカードの対象とする。

(8) 審判に対して質問できるのは、団体戦ではベンチ入りしている監督（コーチ）またはプレイヤー、個人戦ではプレイヤーのみとする。なお、異議・申立はできない。

5. 審判について

- (1) 団体戦、個人戦とも1回戦は本部で指定（シード校・シード選手）し、以後は敗者審判とする。
- (2) 正審と副審の2人で行い、その判定区分を明確にすること。
- (3) 正審は副審のサインを確認した後に大きくはっきりコールすること。
- (4) イエローカードを発する場合、口頭にて行い、ジャッジペーパーに記録をとる。
- (5) 試合終了後、勝者は直ちに採点表（ジャッジペーパー）を本部に届け、次の試合の採点表をコートに持っていくこと。敗者はボールとボードの保管をし、次の試合の審判をすること。

6. 服装、用具について

- (1) 服装・用具は公認メーカーのものとし、上下の服装は蛍光色が基調となるものの使用を避けること。シューズ及びソックスのカラー化を認める。ただし、華美にならないようにするとともに、長さについては、くるぶしより上で、ハイソックスは認めない。
- (2) 背中ゼッケンをつけること。ゼッケンについては、3年生についてはこれまでの規格のものを引退するまで使用できる。26年度・27年度入学生については、大会要項に記載している3段ゼッケンを使用すること。上衣の裾は必ずパンツ（スカート）の中に入れる。監督も胸ゼッケンをつけ、襟付きスポーツシャツを着用すること。ただし、襟付き半袖スポーツシャツに長袖アンダーウェアの着用は認めない。
- (3) コート内では、選手はもちろん監督も必ずテニスシューズを着用すること。
- (4) ハイネックのアンダーウェアは使用できない。アンダーウェアやスパッツがユニフォームの袖や裾から出てはならない。
- (5) 選手の腕等へのペイント・文字の書き込み、装飾品（ミサンガ等）は禁止する。

7. 会場使用上、その他について

- (1) 弁当がらなどごみはすべて持ち帰ること。
- (2) 貴重品は各自で保管すること。（盗難に注意）
- (3) 病人や負傷者がでた場合、本部の救護係で簡単な対応はできるが、病院等への搬送は各校で責任をもってすること。
- (4) 喫煙は喫煙場所をお願いします。
- (5) 屋根がある場所が少ないため、日差しや雨を防ぐテント等の準備をすることが望ましい。
- (6) 駐車場については、所定の場所を利用すること。
- (7) コートブラシは走ってかけないこと。

平成26年度春季予選において、他のテニス会場にて「置き引き」が発生しております。貴重品の管理については、各チームで十分に注意されてください。高額なラケット、貴重品については選手自らが身につけて移動させるか貴重品を監督が預かり、持ち歩くようお願いいたします。監督自身の貴重品につきましても、「置きっ放し」にならないようご注意ください。